（明治四十一年十二月二十日第三種郵便物認可）（日刊）月曜及祭日之翌日休刊　明治四十四年七月廿一日（金曜日）　第七百三十五號　（一）

京城新報

人の一生は重き荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐ可からず

明治四十四年紀元二千五百七十一年
本紙　▲一枚金二錢▲一ヶ月前金三十錢
定價　▲三ヶ月前金九十錢▲六ヶ月前金一圓八十錢▲郵稅一ヶ月十五錢
月曜日及び大祭日の翌日は休日（日刊）
廣告料金　▲五號活字十七字詰一行一圓金五十錢▲縱欄特別廣告五號活字十七字詰一行金七十五錢
發行兼編輯人　高木久太郎
印刷人　松久静一郎
發行所　京城西小門通　京城新報社
電話六六三番　振替口座京城四五六番
仁川宮町三丁目　仁川支局　電話二一一番
東京市京橋區南佐柄木町七番地　東京支局

●脚氣全治の良法

脚氣病が比較的朝鮮に移住せる内地人に多く之が爲に有爲の驅を以て豫定の活動を妨げらるゝ者多きは世間一般の既に知了せる所にして吾人の常に苦しく遺憾とする所なり

而も該病の患者は老幼よりも常に青壯の男子に多く外觀殆ど異狀なきが如くにして身神甚だ爛れ醫療を加ふるも或る他の慢性疾患の如く甚だ遲に治癒の効を奏せず之が爲に有爲の才を抱きて宿昔の志を成す事能はざるもの其の數寔に尠からず吾人は是に於て同病撲滅の良法を述べ大方諸君子の參考に資せんとす

病氣の全快は醫藥よりも寧ろ養生にありとは既に人口に膾炙せる所殊に在苒日を閲する脚氣病の如きに於て然りとす素より病狀の如何によりて醫療を施すの有効無害なるは勿論なりと雖ども特に脚部の水腫若くは麻痺する事により て患者が脚氣の徵候を自覺するに至りたらば其の醫療を加ふると否とに論なく直に左の條項を實行し且つ之を繼續せん事を要す病狀は日を逐ひて輕快に成る期間の後に於て必ず全治の効を奏すべし

第一　各自其の生活の程度に應じて麥、麵類、麪包、饂飩、蕎麥若くは洋食等の何れかを用ゐて斷然米食を絕つ事

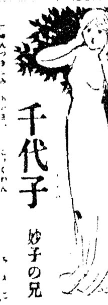
第二　疾患全治の後と雖飯には必ず麥を混して米食の割合を減し且つ之を持續する事

良法とは唯是のみ吾人は讀者の前に難解の理論を述べて其の倦厭を招くを避くべし而も良法と云ひ秘法と云ふ必しも高價なるを要せず空氣は一刻も缺くべからざる人間最要のものなれども如何なる貧民にも全く無償にて供給せられつゝあるに非ずや

吾人は脚氣患者の身分の如何なるに論なく斷然米食を避けよと云ふ生計の裕ならざるものに在りては米に代ふるに擣割麥のみを用うるも可なり副食物は如何なるものを食するも全く患者の自由なれども唯有らゆる食物中米の[illegible]に入るを避くれば足る由來人は生存せんが爲に食するものにして食せんが爲に生くるものには非ず斯る費用を要せざる食物の養生は何人にも出來易き簡單なる療法にして而もよく實行し且つ持續せば難治の脚氣病は永久に讀者の軀体より去り自由の活動豫定の行動唯心のまゝに爲し得べきを斷言し保證し得べき唯一最良にして而も最簡單廉價なる方法なりとす（晴鶴生投）

●慶尚北道の工業

先般慶尚北道方面に於ける特種工業の狀況調査のため出張したる農商工部技師の談話に依れば慶北の工業として特に記すべきものは安東郡を中心としたる麻布、慶州郡を主としたる紙及義城郡方面の木綿青松郡の陶磁器等に過ぎずして安東郡麻布の如きは其產額は余り多額ならざるも一般に各地の麻の植付は二千坪乃至三千坪余の常例なるも同郡には三四反部麻畑珍しからず其製品は絹の價格四五圓なるに拘はらず一疋七八圓の良品を產し將來更に加工獎勵せば立派なる產業たるべし又慶州及延日灣に至る一帶に於ける紙の產出は古來有名なるものにて特に清國に輸出するもの少からず慶州郡には大院君時代に創立したる製紙場ありて紙漉場干場紙撰場の建築物存在し且使用水も非常に清鮮なる場所なれば或は慶北道廳にて何等か補助の途を講じ製紙業の再興を見るあらん義城郡の木綿は同郡の耕地の約四分の一は殆んど棉花を栽培しつゝあり目今にては從來の朝鮮木綿の產出に續かざるも更に改良棉花の栽培地として將來嘱望さるゝに至るやも計られず次に青松郡の陶磁器は其製品は粗雜にして見るに足らざるも原土の良好なるもの附近に產出するを以て何等の設計をなさば將來陶磁器の產出地となるべしと云ふ



千代子

妙子の兄

一騎月並の挨拶が交換されて、千代子さんと與四郎さんのお母さんと母との間には次の樣な談話が交換されて居る

「態々妙子を伺ひましてお母様のお許しを受けました譯ですから、是非今晩は御泊り下さいましてね、」御願申されね、

「ハ、初めて出まして我儘で御座いますが父も母も妙さんのお宅なら、と申して安心致して居りますかられ世話に成りたいと存じます、」態とらしい遠慮を抜いて而して少しも遠慮の所のない口吻、僕は私かに妙子を可愛がつて下さる方達は此の千代子さんの如なのだなと思つて會心の笑を浮めた。

「然で御座いますかマア左樣快く仰云つて戴きますとモウ」と母はホク〳〵して居る、と與四郎君のお母さん、

「ホンに何んで御座いますよね、れ勸めをすると餘計御辭退を成さる方がありますが彼れは却つて失禮で御座いますよ、夫れに[illegible]の辭退は自ら詐つて居るのに至りましてはネー」と、千代子さんを揚げる心算だらうが甚だ此の場合拙な云ひ回しだなと思つた、此れを揚げる爲めには彼れを貶さねばならぬ樣に考へるのは間違ひだ、千代子さんは妙子の顔をチラと見た、迷惑相である、斯う云ふ場合機を見るに敏なる妙子は話頭をチョロリ引き取つた。

「れ母さん口前のれ禮だけでは妾、姉さまのれ母さまやれ父さまに濟みませんのよ、澤山御馳走を致しますつてれ願ひしたんですもの、ネー兄さま」と來た。

「妙さんの言責を重んずると又八しい哉だ、」と、僕が未だ何とも云はないのに與四郎近來になく手柄を爲すと皆んな聲を合せて笑つた、父と與四郎君の父君とは對局中だつたが其の聲が耳に入つて

「何が其樣に面白いかね」と盤に對したまゝ聲を下した、と、

「アッ左樣か」と與四郎君の父君は大業に膝を叩いた。

一座は又聲を合せて笑つた。

時事俳諧

◎夏季亂題　多田千春

涼しさに月も打出の濱邊かな
雲の峯歩哨の劍に崩れけり
炎天や寺から貰ふ風呂の水
まし母に見せぬ[illegible]や土用干
夏深し土塀を渡る蟻の[illegible]
夏の虫手を觸へす間の命かな
毎夜々も其日〳〵の[illegible]

召使れ初

第百八回　風法師

花庭の中に秋風老ひて、菊の花は萎れ去らんとす。

「乳母よ、菊の花見て參らう」



疎なる竹垣の外に、可愛らしき富貴姬の御聲して、つか〳〵と駈けたまふ蝶の逃ぐるを逐ふ乙女の態度、乳母のた峯は追ひすがるやうに。

「れ怪我あつては爲りませぬ、れ徐になさせませ」

「今日は菊合せして遊ばうの、左枝は無いか、參は無いか、れ道も呼んで參らうぞ」

「菊合せ、好いた慰みでござります、左枝どの皆な此枝しござりませ、まづ色の好いを花摘みなされませ」

富貴姬は[illegible]らしかりき、[illegible]髮の色光澤鮮かりき。

「其個に由縁の月と云ふた、さらばこれは喃、此の緣白のはかしは喃」

「九重錦ござりませぬかな」

「さらば此は——……」

山菊の一重咲、香り好きを手折せぬ

「鶴の嘴でござります、その側に黄色う咲くが黄金の玉でござります」

「淡紅が東方朔、白の大輪が秋の月其方に色の測れたのが、夢の浮橋でござります、夢の浮橋と東方朔とは、色合が似て花翹に違ひでござります、その差別御見分が肝要、いつもこれで敗亡するでござります、」「どれ〳〵それ等は

五万六千石の釜の湯氣に初湯遣はせし果報は殘りて、御目の中は濟しかりき御心榮恰悧かりき。

「うなた菊の名を覺ねて居やるの、色の好い菊の名を覺ねて居やるの」

「乳母よりは樣々御存じあらせますか、乳母は敗北致いても、樣々に勝がた見せ申したいでござります」

「覺ねてあるわの、紅いは蝦夷錦、白いは翁、紫色の小さいは什麼にやら云ふたぢやの」

「それ〳〵云ふ下から、れ忘れでござりませうがな、紫色の小さい花は由縁の月でござりまするに、よくれ覺ねわらせませ」

れの一輪づゝを摘み取りて「東方朔にはこの花がござりませぬ、この花と覺ねて居れば、間違ひはござりませぬでれ見れとし遊ばします喃、讀人がそれと讀み上げたりや、これを目標に手早くれ取り遊ばさねばなりませぬ」

「よう似た花ぢやの、何れが姉とも妹とも見分けの付かぬ花ぢやわの」

「夢の浮橋は渕れても、やはり菊の王樣でござります、花の數は色々あれどこれに上越す物も無い第一の名花ござります」と云ひかけて聲を秘めて「譬へて申すと、樣々と政姬樣と……うれの御間に似させられございます、政姬樣はた年上でござりましても、夢の浮橋の氣高いには及びませぬ、樣々はこれの花、政姬は恐れ多くも、東方朔の花の姿ござります」

富貴姬は莞爾と打笑みたまひたるのみ詞なかりき、小供心にも姉妹の間に恐しき相續問題起り居れるを知りて在しき、その爲めには母上と唐橋との間に、澤野と國尾との間に、さま〳〵込み入りたる混雜の起り居れる事情も知らせぬ、故にれ家のそれと申し上げるを上の天に聞かする事はなくて、沈ど心に止めたまひぬ、心に止めつゝ詞は出さで、一圖に花を摘みたまひぬ。

折柄彼方に、政姬の御聲して。

「皆が來うぞ、鞠取て遊ばうに……」

東京電報

▲王世子歸鮮されん　王世子殿下は御生母嚴妃殿下の御葬儀御參列の爲め急遽歸鮮の内議あり

▲御親電を發せらる　嚴妃殿下病氣御危篤の報天聽に達するや兩陛下には御懇篤なる親電を發せられたりと漏れ承はる

▲世子御旅行中止　王世子殿下は今廿日御出發北陸地方へ御旅行の筈なりしも嚴妃殿下薨去の急電に接せられ御中止相成りたり

▲國寶保存決定　今二十日内務省にて開かれたる國寶保存會にて審議されし國寶に指定されしもの百六點あり滋賀縣の五十點は再考の上決定さるべし

▲感化救濟講習會　内務省にては來る九月下旬より二週間感化救濟事業講習會を開き各府縣知事の推薦に係る公私立感化院長及府縣郡衙吏員に講習せしむる豫定にて其講習人員は約百五十名なりと

▲燒ケ嶽再噴火　燒ケ嶽又々大噴火を爲し降灰あり慘狀極む

▲條約改正ご授爵　日英改訂關題條約の締結を了したる加藤駐英大使は來る九月賜暇歸朝の筈なるが多分日英國際關係に盡瘁したる功に依りて授爵の御沙汰あるべしといふ

●新潟縣下洪水　新潟縣各地共出水し殊に長岡を中心として附近の被害最も劇甚同市の大部は浸水し信濃川橋梁流失し慘狀を極めつゝあり又北魚沼、中魚沼の兩郡其他各地の橋梁墜落し道路の决潰多く損害頗る大なり

▲墨國公使内定　目下歸朝中の米國大使館參事官松井敬四郎は墨國公使に昇任内定せりとの説あり

▲北陸地方水害　北陸及秋島地方十六、十七兩日の豪雨にて何れも多少の被害ありしも郵便渡船及橋梁漸次復舊しつゝあり

雜報

●韓國銀行新券　來る八月一日より韓國銀行にて發行する十圓及五圓券は今回各府郡及銀行金融組合へ對し實物見本を配布するに付き實物の閲覽を望む者は以上に就き閲覽すべしと

●蠶絲天覽準備　京畿道にては今回各公私立普通學校にて收獲したる蠶絲を總督の手を經て皇后陛下の天覽に供せんと目下其準備中なり

●兩班儒生植林　黄海道瑞興郡の兩班儒生等は此程東拓會社より資金千圓を借り受け植林事業に着手したる由にて猶ほ彼等は此外に畑地百町歩を水田に開墾せんと計畫しつゝありと云ふ

●嚴妃殿下薨去

▲病勢革まる　李太王妃殿下には去る八日以來輕微なる風邪に罹らせられ次で下痢症を併發したるが十九日夜來病勢頓に革り二十日午前三時に到り終に人事不省に陷らせられ到底御本腹覺束なきの御容態に陷らせらる

▲王世子へ電報　妃殿下は王世子殿下の御生母におはせらるゝに就御病氣御危篤となるや二十日午前三時至急電報を以て東京の王世子殿下に御通報申上げたり尚ほ殿下は二十日東京御出發北陸地方御巡遊の御豫定なりしも御中止相成る樣德壽宮より併せて電報されたり

▲德壽宮の混雜　嚴妃殿下御危篤の報に接し寺内總督は國分局長を代理として又大久保軍司令官は十時副官をして德壽宮に參候御見舞申上げたるが朝來朝鮮の王公貴族は何れも急報を聞き陸續參候し德壽宮は非常の混雜を極めたり

▲李王の御見舞　李王殿下には嚴妃殿下御病氣御危篤の報に接せられ二十日午後一時御見舞の爲め德壽宮に成らせられたり

▲總監御見舞　山縣政務總監は二十日午前十一時李完用伯は同八時趙重應子、閔丙奭子、朴齊純子は同九時李容植子は午後一時何れも德壽宮に參候し嚴妃殿下の御病氣を御見舞申上たり

▲御病症腸窒扶斯　李太王妃殿下の御病症に就き藤田總督府醫院長は往訪の記者に語つて曰く午前三時頃德壽宮より嚴妃殿下御重患故早速來診を乞ふ旨電話あり大に驚き洗面し、うご〳〵にて早速森安博士御園醫官と共に德壽宮に赴き拜診したる非常の御重患にて最早御治療の餘地なき有樣なりき予は直に鮮人典醫及近侍の人に御經過を尋ねたるに去る八日頃より御發熱あり其の後下痢を催されたるも左程御重患ならざりし故鮮人典醫のみにて御治療申上げたるものらしく遂に今朝三時御發熱の爲め肥滿せる御体格故心臟痲痺を起されたるならんが御病症は全く腸窒扶斯なりと強信す

▲終に薨去さる　嚴妃殿下には藥石其効なく遂に二十日午前三時三十分を以て五十九歲を一期とし薨去あらせられたり

▲御臨終の模樣　嚴妃殿下の御臨終に就き近侍者より漏れ聞く處によれば十九日は御病勢絶頂なるにも拘らず別に御苦みの御模樣も見へず李太王殿下に對はせられ王世子も天皇皇后兩陛下の御慈愛に依り立派に成人の由なれば萬一の事あるも毫髮の憾なしと物語られたりと

▲王世子へ御注意　李太王殿下は王世子殿下に對し薨去を痛嘆して健康を害ふ事なき樣にとの懇切なる電報を發せられたり

▲嚴妃御經歷　嚴妃殿下は嚴氏にして故明成皇后の在す頃皇后の侍女として御櫛上を掌りつゝありしが何時しか太王殿下の御寵幸を蒙りし爲め故皇后の却く處となり一時巷閭に窮居されつゝありて御肉身の嚴柱益氏等と幾多の辛慘を嘗められたりしが漢城の風雲は閔后の逝世を余儀なくしたりければ再び嚴氏の入内となり間も無く今の王世子殿下の御誕生を見るに至りしかば遂に身分も貴嬪より貴妃に上らせられたまふ此間漢城の政界は幾多の變動ありて或時は殿下立后の風評等盛んに傳はりたるも第二協約締結以後英親王が王世子と御決定ありたるより深く我が日本の高義に感ぜられ爾來李太王殿下を内助して新政に資せられし事少からず我館附班等の婦女に新教育を與ふ可く學校の設立に巨資を投ぜられ又は赤十字社が舊韓國政府に管掌せし頃其令弟嚴柱益氏を赤十字社の副社長たらしめて多額の御内帑を賜ひ最近には佛教興隆のため其費を下賜されしこと慈善教育等の事業を助けられし事數ふるに遑まなきも今や鳳算五十六にして薨去あらせらる李王家の御悲嘆如何ばかりぞ長霖霏々として德壽宮の邊颯り良雲、殘るを見るのみ嗟吁

●朝鮮教育會

同會は其評議員會を十九日午後八時高等女學校内の一室に於て開く當夜の出席者は十七名にして例に因り副會長議長席に就き小杉幹事長議案説明の任に當る

第一　學寮經費豫算の件

右は過日の總集會に於て委員附託となりたるものにして評議員會に附議せられたるは乃ち該委員會の手にて調査立案せられたる豫算案なり右に付き五六評議員よりの質問に對し小杉幹事長より委細の説明あり結局該豫算案を可決し同時に其筋に向つて學寮創設費及び經常費補助の請願書を提出することに可決したり因に學寮は小學校の設なき地方の内地人學齡兒童三十名を預り之を保護監督して京城の各小學校へ通學せしめ食費學費は父兄の所辨とし寮の創設費及從事費は其筋の補助に依らんとするものなり而して委員の調査立案に因れば創設の本學年度に於ては經常臨時兩費を合せ金二千四百五十圓を要し次年度よりは經常費一千七百十圓を要するなり

第二　[illegible]會附屬水練場開設の件

右は場所を麻浦對岸の漢江河畔に設け中小學の生徒に限り夏季中二十日間内地より水練の教師を聘し水練を教授せしむるものにして本會は右の事業に對し金九十五圓を支出すとは幹事長の説明なるが二三質問の后ち無異議可決實行することゝなりたり

術聞くところに因れば今回當地に創設せらるべき學寮は模範的の物の由なるが追つては各地方にも同種學寮の設立を見るならんと云ふ

●普通學校の實習　京畿道にては各公私立普通學校に對し實業教育の實習として時間中若しくは放課後に養蠶及び朝鮮鞋の作業を獎勵しつゝあるが生徒は多大の趣味を以て迎へ樂しく作業に從事し成績頗る良好なりと

●園藝品評會補助　來る九月大邱にて開會せらるゝ園藝品評會に對し總督府より二百五十圓慶尚北道廳より百圓の補助金を下附す

●本水道修理成る　給水斷絶後水道當局者にては其復舊方に從事し潜水夫を使用して水中工事を行ふと同時に一方排水を急ぎつゝありしが昨十九日午後八時頃に至り全く排水し終りたるを以て直ちに復舊工事に取りかゝり二十日午前五時頃に鐵管の修覆完了したり然れどもこは應急の工事なれば完全とは謂ひ難く完全の復舊には尚一ヶ月位の時日を要する由なるも大洪水さへなくば給水には差支なく斷水等の事は無之由にて二十日中には市内全部の通水を見るに至るべしと

●龍山水道聯絡中止　別項記載の如く京城水道の修理成り通水を見ることゝなるに至りしを以て過日來非常の精勵によりて本水道は僅かに聯接なし得たる龍山鐵道局用水道の該工事は玆に一先つ中止することゝなりたるも該聯接の爲め敷設したる鐵管は當分萬一を慮り現狀の儘になし置くべしと云ふ

●北韓の鐵道運動　政府にて清津會寧間現在の輕便鐵道を改築せむとの計畫を耳にせし元山、咸興、北靑、城津等に在住せる内地人は元山清津間の鐵道敷設を計畫し目下總督府に運動中にて尚本年の議會中には委員を東上せしむることをも決議したりと云ふ

●咸南畜牛改良　咸鏡南道にては恩賜金利子の一部を以て畜牛改良に充つべしとは既報の如くなるが愈々近々最良朝鮮牡牛四十八頭を購入する事とし近々各地に配付すべしと

●土地調査局增員　來る八月より地位等級調査に付き一[illegible]に經驗ある日本人の判任官若くは雇員一名づゝ總員九十餘名を增員して調査の進歩を圖る由

●漁航寄港請願　慶尚北道盈德郡江口港學校組合は嚢に釜山漁船株式會社に對し同港に漁船の寄港ありたき旨申込みたるに同會社は折り返し目的港の經濟狀態調査方を照會したるに同地在留民は今回會社との直接交渉を手緩しとて民支部へ釜山會社に對し寄港の命令ありたき旨の請願し來れりと

●長承浦の漁況　慶尚南道巨濟郡長承浦附近に於ける本年度の鯖漁水揚高八百六十四萬六千尾なるが此の販賣價格二十三萬九千六百餘圓なり

●各地水害公報

義州　增水約十三尺九龍浦寢屋四戸稅關の小舟一艘流失目下增水しつゝあり(一九日)△雲山方面河川氾濫人畜に被害無きも温井郵便所浸水せんとす故に書類は巡査駐在所に移し住民避難警戒中(十九日午後十時)△鴨綠江午後十二時の增水は一丈八尺義州新義州間橋梁流失浸水家屋あるも人畜被害なき見込(廿日午前一時)△十九日正午公州着邑内附近は別に報告すべき事故なし本日迄の報告に依れば全管内にて溺死十四、家屋流失二十八全潰れ百五十四、半潰れ四十七浸水四百、炊出し救助人員九百なりしも減水と共に約三分の一となれり今回の被害は論山江景地方最も甚だしく本朝漸く稻葉の先きを見る位に減水せり公島間の道路は破壞の個所多く橋梁は殆んど墜落流失せるも鳥致院淸州間に比し其程度輕く沿道作物の被害は公州鳥致院間甚だし二十日朝論山江景を視察する豫定更せられ二十日朝午前六時發の豫定(忠淸南道植松警務部長)

●新義州の洪水　連日の豪雨の爲め新義州は二十日午前四時より滿潮に際し增水し同市街の八分通りは浸水せり市民は今後の滿潮增水を憂へつゝあるも人畜に死傷等なしと云ふ

●鐵道被害詳報　西浦順安間百七十七哩四十五鎖附近浸水築堤破損、運轉危險なり(十八日順安驛發)▲順安漁波間百八十一哩六十一鎖附近の箇所未だ復舊せず又普通江增水其中に沒し列車不通(十八日平壤發)▲萬城新安州間二百〇八哩より同哩廿二鎖間線路破損目下應急手當中復舊二日間の見込▲嶺美雲田間二百十八哩及二百二十哩七十八鎖附近線路破損列車不通目下應急手當中(十八日新安州發)南市良策間二百八十三哩六十七鎖上霧川橋梁流失築堤破損舘南市間一百七十五哩五十五哩鎖附近、良策川增水護堤破損又二百八十哩七十六鎖出合川橋詰護堤破損列車不通(十九日良策發)▲良策枇觀間二百八十七哩附近線路六十尺破損列車不通

●金澤博士の講演　學務局員の發起にて今回入京したる金澤文學博士の朝鮮語に關する講演會は十九日より連日南山町高等女學校に於て向ふ一週間毎日午後四時より開會すべし

●鳥居龍藏氏　知名なる人類學研究者の同氏は十八日來城目下滯在中なるが朝鮮教育會は近日氏に一場の講話を請ふ由なり

●分隊長警察署長會議　京畿道憲兵隊本部にては七月二十四二十五の兩日管内各分隊長及警察署長を召集し會議を開く由

●沈沒英艦の引揚品　昨年全羅南道濟州島沖合なる毛瑟浦に沈沒したる英國軍艦中より客月五日乃至九日の間に於て引揚げたる物品及價格を聞くに眞鍮銅及其他の金屬總て八千七百貫にして此の見積價格四千二百圓ダイナモ機械二個同六百圓合計四千八百圓なりと

特別通信

●釜山より　エスケー生

其三　釜山水產株式會社

本記事は七月十四日及十五日の二日間に亘りて掲載せし釜山よりの續きなるも水害にて汽車不通の爲繼稿延着せしものなるを讀者各位に告白す(記者)

水產會社は以上の如く橫暴を極むるも多數の漁夫は、會社の外に漁獲物販賣の自由も便宜も有せざることゝなれば、換へられざる苦痛を忍びて今日に至れり、會社は斯く多數の漁夫を窘めて其泣く〳〵不利益と知りつゝ、實に腹は血と涙とを吸ひ取り、年一割六歩の配當をなし、猶多額の積立金をなしつゝあり、無實なる多數の良民＝漁夫＝小農＝勞働者？が、少數の殘忍なる資本家の爲めに、其幸福と勞力を蹂躪せられ掠奪せられつゝある社會制度の缺陷は此所にも遺憾なく其餘波を蔓延せしめつゝあるを見る當局者たるもの其害毒の今日以上甚だしからざるに先ち、宜しく國家の爲め一刀兩斷の事に出で其禍根を深からざるに排除すべきなり會社は不正の手段に依りて其飽くなき私慾を肥せるにも拘はらず、猛獸毒蛇の如き恐るべき爪牙を、遠慮なく又他の方面に伸ばさんとす、ろは他にあらず統監府時代に設計して、今日最早其功を終へんとする釜山漁港の共同荷揚場を其手に握らんとすること是なり此の共同荷揚場は多數漁夫の便利の爲めに、漁港の側に建造せられたる一大建造物にして、釜山方面を中心とせる一般漁夫が、其漁獲物を運搬し來りて或は鹽藏に、乾物に、荷造に、販賣に、從事すべく設けられたる、政府の自由共同荷揚場なり、統監府は其目的を以て建築に着手し、總督府も其目的を踏して之れを完成せしめたるものなり當局者が多數漁夫の便益を企圖せる其事たる、實に双手を擧げて賞讃すべき價値あるものなり、吾人は衷心より感謝の意を當局者に表するに吝ならざるなり、然るに何者の跳梁ぞ、近時切りに此の共同荷揚場の經營を自己の一手に壟斷せんが爲めに、當局者の間に運動奔走するものあり、其運動奔走者が、獨占的權能を振廻して橫暴極まる掠奪的不正利得を收めつゝある釜山水產株式會社なるに至つては、吾人は其底なき慾心の發露に一驚を喫すると共に無恥暴戾なる其行動を憤慨せざるを得ず、彼は其有する所の獨占的營業たる、魚類仲買に於て多數漁夫の膏血を絞りて、暴利を獨占しながら、飽くことを知らず、當局者の好意に依りて折角計畫せられたる、自由共同荷揚場を橫領して猶も虎狼に均しき慾心を滿たさんとす、何ぞ其行動の專恣にして無恥なるの甚だしき、彼れの當局者に運動する口實は、或は惘然に聞こゆるものあらん、尤もらしき所もあらん、然かも其惘然に聞へ、尤もらしく思はるゝ口實の眞相は、釜山方面に於ける漁獲物の、一層確實にして堅固なる獨占的業務を經營して、今日彼の貪りつゝある年一割六歩の配當を二倍若くは三倍ならしめ、今日多數漁夫の蒙りつゝある不便不幸不利益を甚だしからしめて二倍又は三倍ならしめんとするものなり(未完)

●閔長官の上京見合せ　別項記載の如く李太王妃殿下御危篤なるを以て過日出京を命ぜられたる閔李王職長官は此際上京を見合す事に決定せりと云ふ

●山根囑託の出張　山根衛生囑託は忠淸南北道慶尚南北道方面へ水害後の衛生狀態視察の爲め廿二日出發出張すべしと云ふ

●金融組合設立委員任命　本年度に增設すべき金融組合卅六ケ所中其の二十余は既に設立委員の任命を終り開業の上理事たるべき内地人の人撰も決定し目下創立準備中にして他の十余ヶ所も近々設立委員の任命を見るべしと云ふ

●奥野技師の來鮮　專賣局技師奥野健[illegible]氏は總督府專賣局囑托なるが今回製鹽狀況視察の爲め約三週間の豫定を以て來京すべく十六日頃東京出發の豫定

●ヴアンペテン夫人出發　頃日來朝鮮傳道視察中なりしヴアンペテン夫人は各方面の觀察を終はり十八日朝の急行列車にて當地出發歸途長崎を經て上海方面をも觀察の豫定なりと

●木原牧師の元山行　旭町日本メソヂスト教會の木原部長は別項ヴアンペテン夫人を送りて釜山に行き同地より更に元山方面へ出張八月末頃に歸京の筈なりと

▲京城手形交換高▼

七月	金高	枚數
二十日	一九二、二二四、一五〇	三三七

▲治外法權▼

精力絶倫なりし嚴妃殿下も病には勝ち能はず、二十日の拂曉を以て最後の息を呼吸された、アー悲哉▲嚴妃殿下、其薨去が舊韓國時代であつたなら中々大した事だ、まづ第一に國民の全体が幾年の間は喪に服さねばならぬ、國政も或期間は休止せねばならぬ、而るに併合の今日としては其事なし、今昔の相違實に如斯しである▲併し何と云つても妃は太王殿下の御配合であつて、我天皇陛下も見上げ奉るべき方である以上今回の凶事に就て吾人は謹み畏みて哀悼の意を表し奉らねばならぬ▲御氣の毒なは王世子殿下である、今や内地の地方御旅行中であるが、御生母の訃を聞かれたならば嘸や悲歎の涙に暮れ玉ふであらう▲道途の風說に因れば昌德宮李王殿下は來春早々御上京の筈であるのだソウだ、トコロが今度の御凶事があつて見ると、服喪の關係上、自然御上京を、見合せになるかも知れぬ▲過日もチヨツト書いたが、我同胞中今尚特殊部落として、社會一般から輕侮扱ひをされてる人々現在の數が約八十萬で、部落の數が五千五百三十二だソウだ▲八十萬と云へば中々大へンな數だ而るに此八十萬が不平絶望の餘り、彼の厭ふべき社會主義者にでもなつたなら中々厄介なことだ、近時政府が彼等に關する問題に就て、幾らか留意するようになつたのは未だしも結構の事だ▲特殊部落と云へば彼等の中にもナカナカ傑物がある、今や天下の米價を一人で左右して居る賀田金三郎、濟生會へ進んで出金せる馬關の吉岡等は乃ちソレだが、此外にもエラ物は澤山ある▲寺内總督には十數年間官舍住まい許りをして居たのだが、今度はドウ云ふ譯か、三十萬金を投じて壯大な邸宅を麻布へ構へ、近々歸東の上はソレへ入らるゝのだとの噂があるが、記者は本當とは思はぬ、何となれば總督は由來淸廉を以て名ある貧乏な筈の人だ、此貧乏な筈の人にドウして三十萬と云ふ大金が投じ得らるか▲尤も世には借金と云ふ便利な途もある、併し儉約宗の總督に限つてマサカに此便法には[illegible]るまい。

京城藝妓の半生 松葉亭の時松（一）

顏を見ると直ぐ「オイ吞助」とは何んです失しやア冥様育てようはしませんのに****、ビールの一ダース、お酒の一升や二升飲めなくつて此座敷が務まりますかね。聞けば？姫御前の身のあられもない自分の口から耻かしいワ、エ、耻かしいは一銭に幾個かつて、テア三個も來るでしよう、生れですか東京、エ、東京は京橋區、エ、京橋區は宗十郎町ですよ、本名、貴郎は恰で戸籍調べ見たいですね、好かないよ本名は石川はな當年二十六歳ト少し酔が回つた如です、自暴で貴郎を助けると思つて身の上話しを致しませうか、アヽ左様仰云れば貴郎は日吉町の券番の前の酒屋ね、エ、高木の店や魚久の店の邊で見かけたよ、ヤア懐かしい、菊屋のお汁粉餅り歓迎はしませんね、ホントに懐かしいよ御存じでしようアノ大泉家から花奴と云ふ名で九歳の時に出ましたの吉川義雄と云ふ旦那に十六で落籍されましたがね十九歳の春に旦那の失敗と來ので舞戻つて元の家から駒榮と名乗つて左褄取ることになつた年の五月即ち明治三十七年ですね日露戰爭の眞最中掬翠の江戸奴さん達と同伴に、米國のセントルイスの博覽會に行きました（記者曰く江戸奴を紹介したる時其の之れを伴れて行つたものを扇芳亭の主人としたるは記憶違ひにて同人のは巴里博覽會の時なりき而して同人の伴ひし藝妓連は殆んど國辱問題を惹起するに醜体を演じたるに懲りたる當局は此のセントルイスの時は許可せざる方針なりしも、其の總人たる[illegible]の勢力に依る所ありて嚴重なる取締を附する事にして漸く許可したるが船中にても才能なるものにて日本の領土以外の寄港地にては逃走及び誘拐等の虞ありとて上陸を許されざりしも桑港に上陸後も恰も猛獸にても輸送するが如かりし）桑港から[illegible]ランドまで運ばれ疲れた身体を大陸鐵道に乘せられて聽てその汽車は突然停つてスツテン迄に乘つてる如にフワ／＼と揺れるぢやありませんか何うした事かと窓から覗くと貴郎瀛車が船に乘つて居るのですよ、エ、十五も二十もの列車が其儘ですもの、話にも聞いて居なかつたから驚きました、ベニシヤの渡しと云ふのだ相です瀛車はヅン／＼と進行するロッキー山を横斷しようと云ふんですから進むに從つて寒くなりますの、七合目？でしたかに泉の停車場と云ふのがありますの、何にしろロッキー山と云へば御存じの高山ですから谷間物蔭には雪が積つて居ます、其の雪が下の方から少しづゝ溶けて而して流れて三島へ落ちて三島女郎衆の化粧の水と來るのは富士の白雪ですが此所のは此の停車場の所に湧き出でゝ居る、夫れで泉の停車場でさ、夫れて顔を洗ふ口を漱ぐ今迄の疲れが脱けた如な心地になりましたね。

●南部署の大活動

▽飲用水配給に付いて　當事者の不注意より水道の斷水を見るに至りしより一般民衆に多大の迷惑を掛けたるが警務部側の應急措置宜しきを得て其失態をより大ならしめざるを得つゝあるは市民の感謝に堪へざる次第にして之れに伴ふ警察側の勤勞何れも甲乙はなきも特に南部署は一寸として文句の出る日人多きことなれば聊も遺漏なき如にと署長以下全署員は午前四時頃より午後十時頃までも管内給水に從事し各村署長井口警部は其狀況察視の爲め巡回し居れり其の給水は不便の地にある人及比較的富有なる家に對して早く洽ねく行き亙る樣注意せるとなりとて一般に謝意を表し居る

●總督對秋吉氏

公判　内地人岩村秋吉宮太郎氏の仁川府萬町西十井里調伏任擔田二十一萬六千四百五坪一合五才及附府多所[illegible]道路[illegible]伏任擔田十一萬五千七百四十九坪八合七勺五才此の見積價格合計二万五千圓の土地所有權確認並に返還請求事件の公判は一昨十九日午前九時より京城地方裁判所仁川支部法廷に於て大谷裁判長並に寺川四位の兩判事の係り志水檢事の立會にて開廷あり原告代人辯護士木尾虎之介岡岩本英夫の兩氏に被告代人辯護士中村時章氏等出廷あり兩辯護人の辯論あり證人として小田林之丞の取調ありて後志水檢事の論告あり大谷裁判長より來る二十六日公判言渡しあるべく同十一時閉廷せり



涼味

●同郷人の血を吸ふ

南大門外東洋館内投宿人岐阜縣人岡田佐太郎（十九）は長谷川町居住同縣人牧連行なる者を便り渡鮮せしに郷里より父病氣とて旅費を送り來りしより歸國せんと思ふ内牧連行は一寸貸して與れと旅費金の内十三圓を借り受け返金せぬ爲

め困却中去る十日本町通行中郵便局前に野口兼服が置きたる自轉車（代百餘圓）を窃取し鮮人に賣却せんとする際北部署の鮮人巡査に看破され檢事局に送られしが京城區裁判所に於て審理中の處懲役四月に處せられ三年間刑の執行猶豫となる

●畑中に病死体

十九日漢江減水の際と同時に龍山面東幕の畑中に年齢四十二三歳散髪にして裸体なる朝鮮婦人の死体發見せり此者は死後殆んど三週間以上經過せしものゝ如く全身腐爛して一見酸鼻を極めたり死因に付ては更に據る所なく又何れの者とも分明せざるも朝鮮の奇習にて發病の出來る極貧者は水葬に付するより多分此者も漢江の上流にて水葬せられて前記の處に漂着せしものならんと云ふ

●人力車を煙にす

德島縣人仁尾庸男（二十）は本町一丁目裏通人力車販賣商笠井商店に本年二月より雇はれ販賣及集金に從事中西小門通り西門組外七名より集金したりし金額五百四十餘圓を横領し新町及中の新地方面にて浪費せし事南部署刑事に探知され目下取調中

●平松興業氏の來鮮

東派本願寺特派布教使平松興業氏は今回當地布教督勵の目的を以て左の日割にて各地巡回すと

▲七月（十九日より二十一日迄）釜山（二十二日）密陽、大邱（二十三日）太田（二十四日）烏致院（二十五日）水原（二十六日より廿八日迄）京城（三十日より卅一日迄）安東縣▲八月一日 新義州（二日より三日迄）鎭南浦（四日より七日迄）仁川（八日より十一日迄）群山地方（十二日より十五日迄）木浦

●龜吉布團を盗む

龍山鐵道構内小林方兵庫縣人石田龜吉（三五）は去る十七日午前十時頃古市町二十二番戸藤田林吾方に忍入り布團上下一組（代六圓餘）を窃取し入質費消したる事南部署刑事に探知され目下取調中

●特志家

龍山東幕上契高允默氏は龍山面面長にして有數の財産家なるが今回漢江増水の爲居宅浸水せし土亭里十二統十二戸金成王同十二統五戸韓化成同三統十二戸東永守同一統十戸李庚七洞八統金春弘の五名の赤貧者に對し各金一圓宛配付し救護したり特志の者と云ふべし

廓のうはさ

▲鱗の君之助は先月廿一日より京城曙町の山本旅館に入浸りと成て居たが十七日歸仁仕り候▲一富士の久子も十六日出京して同旅館に宿り込んで居たが十八日に歸り申候▲淺岡の桝子は水場の若旦那が京城から妻君を迎えて以來頓と顔見せがないので斗り居た處へ久方振りで一昨夜御見え遊ばしたと云ふので大興悦ドーゾ相變らず御贔負を▲同樓のれもちややの學者振りは大變なもの客の一人ノリと云ふ處はドウ書くかと問へばノリとは海路と書いて海苔と讀みます又は昆布は山で採れますとの講義振り學歴を問へば驚く勿れ尋常小學校の卒業生之れで學者の本性が分る▲第一敷島樓の久霧抇子山田せんは腸窒斯扶で入院中なりしが一昨日彼の世の客と成り申候此の妓生れは東京去る四月一日より四年三ヶ月の契約で五百七十圓の前借にて現れし者にて候御愁傷の至りに御座候

●取消

拜啓仕候陳者本朝不取敢當地貴支局を介して取消方申入置候通り去十九日御發刊の貴紙面三頁二段目に御掲載の小生に關する記事は全然事實無根にも有之候不尠迷惑致候に付何卒至急取消相成度此段御願申上候書中を以て得貴意候拜具明治四十四年七月十九日仁川山手町石井孝一印京城新報社御中

●大相撲彙報

素晴らしき大景氣の下に初日開催したる太刀、國見一行の大相撲も附きものゝ雨に妨げられて入れ掛けとなりたり一行は既に釜山にても散々に之れに惱まされたる揚句なれば氣の毒さは又一層なり氣の毒は夫れに止まらず前景氣頗る良かりしにも似ずイザ初日となりても客足鈍く午前十一時過ぎし頃は僅かに五名斗りなりきと、太刀山の雄姿國見山の偉容を以てして斯る成績を見るなれば其の勝負も極めて興味のものなるべし況んや此の成績は本場所の番附に影響することなき花角力なれば猶の底昨年の大相撲即ち常陸、梅の一行と同じき程度の興味を繋ぎ得べからずとなすものあり又

▲御隱居　西の大關國見の如きは實に太刀山の先輩なりと雖ども實は今日にては隱居角力なり昨春來隱退すべしと傳へられたる程の老ひ込みなれば鳳、五十嵐を東に置かざるものなりと云ふものもある杯悉く面白からぬ推量を廻すものあり又中には

▲木戸口　の横着不親切に愛想を盡かし關部屋力士の八百長角力を木戸口の不快を忍んで泣觀するに及ばずと引き返したるもあるらしく盛んに梅、常陸の偉容、雄風を説いて景氣を殺ぐべく吹聽するものもあり、本興行の木戸口の横着ぶりは木戸口をも覗かざる記者には分明せざるも角力米戸口の横着は昔からなり老練の大喧嘩の原因も夫れからなれば或は之れあらんも

▲常陸、梅　の一行に此の一行を比較するは可愛相なり比較する方が馬鹿なり蚤然粒が違ふのだものと引き倒しを行つてるもあり、然れども之れ悉く誤りたる風説にして國見も決して老ひ込みたるに非ず、太刀の敵なきにもあらず鳳の如き五十嵐の如き大蛇の如き本氣で角力へる力士もあれど只太刀山が餘りに強きが此の一行の興味を薄からしめたるは爭ふ可らざる如きも強いものは弱くはなれず弱いものが急に強くもなれぬなり、若し思ふ通りに行けば夫れこそ八百長なり、友綱を初め一行皆な始めより斯る批難もあらんかとて堅く

▲申合せ　て面白き相撲を取りて觀客を喜ばす如にして居ると云ふに斯る風説ある上此の雨期に出會したる一行は返す／＼も氣の毒なり

▲返り初日　天候恢復次第返り初日を出す都合なりと云へば早く大氣にしたきものなり

▲鐵嶺丸の一周忌　斯る稼業のもの程縁起を氣にするものは少きものにて昨年大連より歸國の際自分等の乘船と定まり居りし鐵嶺丸沈沒の事ありしが豊國は運よく乘り遅れて難を免れしが本年當地打ち揚げ後滿洲巡業の途の時期が恰も其の一周忌なる八月の十二三日に相當するとて舟靈を祭つて居るもありと云ふ御幣を擔げば限りなし確乎しなよ

讀む可し讀む可からず

山水道人

▼殘る惰力に更に新たなる力を加へて矢の如く。勢ひ込んで走る人車の風を切つてエーイエーイ▼聲に應じて犬も車も人も馬もパツと前路は開く筈なが▼此處に一團白衣のヨボ先生。大道の道中を平氣でノソリノソリ▼肩先き三寸アナヤと見る間に挟風一陣。サツと來た梶棒にピックリ仰天▲飛びあがつて目はパチクリ。今更の樣に驚いて驅け行く車の跡を見送り又ノソリノソリ▼自轉車、馬車、人力車の追ひ越し摺れ違ひに。何がサテ朝鮮人程路をヨケないノロマなものあるべし▼かくて彼等は自巳の進路と歩調と位置とに依つて。對手に如何に不便不利なる影響を與ゆべきかを思はない▼是明かに優劣人種の特質たるべき『直覺知識』の缺亡と『共同作業觀念』の不足とを意味す▼然り彼等の歩行は單一的也。主我的也。思ひ思ひ也。さま／＼也▼自分さへよければ他人はどうでもよし。道路は踏み荒らし▼我家さへよければ隣家や世間は構はず大小便は垂れ流し▼今さへよければ後は何とでも嘘をつき▼木さへ切れば山は禿げても心配なし。入道の山河此處に廢れぬ

ること原因なかる可らずと道途の風説に可を傾くれば

▲獨角力　太刀山の強勇も敵方に常陸山、駒ケ嶽あり高見、兩國、碇潟等ありて初めて味われ此の一行の如く僅かに大蛇、五十嵐を除きて他に兄弟の如きもの其の力量に至りても確かにく太刀山の敵にあらざること分明せるものとの取組なれば見るに及ばずと云ふものもあり又

▲花角力は　同部屋力士同士の取組

●諸公債諸株券現物賣買
迅速確實に御取扱可申候兼業
京城本町三丁目
大坂野村銀七代理店 田中友吉商店
電話九九三

完全なる健康法は善良なる滋養を得るにあり
蜂印香竄葡萄酒
は佛國葡萄酒の精粋なれば醇良にして佳味日常の滋養劑として最良好適たる事を實地に保證せらる速に飲用あれ
發賣元 東京 近藤利兵衛

●貸金 旭町二ノ一五 別府 高橋
組車根據勝向小路
有給者には極秘密に低利融通可申候

三輪井上兩博士方劑
懷中良藥 仁丹
消化と毒けし
THE JINTAN 仁丹 ジンタン
●日中外出の時 ●執務讀書の時 ●旅行散歩の時 ●海水浴の時 ●酒煙草の前後
▼精神を爽快にし ▼元氣を旺盛にし ▼疲勞鬱悶を去り ▼頗る清涼を感ず
仁丹のめば何人も御服用あれ
代理店 京城南大門通三丁目 新井藥房 電話九〇四、一〇六八 振替口座京城十六番

今日ハ此時
何人にもヘルプが必要
●惡疫は常に腸胃患者を狙ふ
●腸胃の弱き人は勿論、何人も、昨今の季節には、朝夕二錠宛のヘルプを用ひよ＝腸胃を健全にし惡疫を防止す
腸胃新藥 HELP ヘルプ
窒扶斯赤痢虎列剌等の流行は皆腸胃の養生を怠に起因す
(ヘルプ主効)
●痢病●腸加答兒●時候あたり●吐瀉●コレラ●水あたり●飲食傷等一切の下痢を止め腸胃を整へ腹痛を治す
取次は各藥店にあり

二十世紀之新劑
最良新藥 月經不順
中將湯 婦月丸
▲月經をつうじ子宮病を全治す●●●
月經閉止三四ヶ月の滯りを通じ其他月經不順より起る子宮病血の道、頭痛、眩暈、食物進まず、逆上強く等の病を根治し、血のめぐりを能くす
一日入錢半 週分廿五錢 一週五十錢 二週分壹圓 三週分壹圓四十錢
常に月經異動ある人持藥とせば身體を強壯にし子宮病に罹る憂ひ更になき良劑なり
本舗 大阪心齋橋二丁目 丹平商會
支舗 東京日本橋區 丹平商會
賣捌 東京市內其他各店に取次す

代理店 京城南大門通三丁目 新井藥房 電話九百四番 千六十八番 振替口座京城十六番

土地建物鑛山株券賣買
一擔保及確實なる債權に對し低歩貸金す
一漢江上流に在る赤松長五六間のもの二十萬本余賣物あり
一市內適當の場所にて印刷業老舖機械附屬品全
一鑛山物あり良質の石綿山黑鉛鑛歩止まり好き金鑛賣物あり
一水田畑及市內宅地割安の賣物あり
一電話賣物あり
小林藤商店
京城明治町三丁目 電話六六五番

最上醬油
大塚釀造所
永登浦
醬油釀造元濱口合名會社と特約致大樽並に斗樽共第二回着荷仕精々薄利を以て御需に應可候間御用命奉願上候
清酒 金露 長春 發賣元
京城明治町一丁目
大塚京城支店
電話四〇一番

DIGESTIN
新消化藥 デゲステン
日、英、米、獨、佛、伊、白、印、墺、加、曇、瑞、十三ヶ國 專賣 政府特許
▲銀賞牌受領！(發明品博覽會日英大博覽會に於て)
本品の特徴は彼のヂアスターゼと異り單に澱粉質のみを消化するものに非ずして克く食物中の主要成分たる蛋白質をも完全に消化し血中へ吸收せしむる世界無比の腸胃最新藥なり
▲販賣所は各地藥店にあり(御注文説明書は御申込次第送呈す)
發賣元 合資會社 圓城商廛 東京市日本橋區本町三丁目

ルイレキ病患者に告ぐ
本劑は普通賣藥より効驗顯著なる事確證す故に如何なる永年の患者にても五週間服用すれば全治保證
▲郵券二錢封入申込次第詳報す
▲販賣店望みの方は御照會あれ
東京市芝區南寺町一八 東洋堂藥院

韓國銀行
當銀行ハ預金、貸附、爲替等一般銀行業務ヲ確實親切ニ取扱申候
電話 ◎參壹番 六拾貳番 壹貳六〇番 壹貳六壹番
支店出張所(大坂、仁川、平壤、元山、大邱、鎭南浦、木浦、釜山、群山、馬山、城津、羅南、新義州、安東縣)
右ノ外內外主要ノ地ニ爲替取引先有之候

花柳病 痔疾專門
外科一般 特にけのできもの
横痃電氣吸收療法 脫肛無出血根治療法
痔瘻頓挫療法 痔核注射療法
京城梅毒病院 相生町 院長醫學得業士 蘆田耕平 電話一二九四
仁川外科病院 分院 仁川仲町二丁目 院長 隔日午後と夜間診療

新荷着
浪平板 洋釘各種
多數御入用の御方は特に安價に御相談致可候
和洋金物商 京城本町貳丁目
佐野彥藏商店
電話一六三 振替口座京城一二〇番

酒精アルコール
●新荷着
仁川花町一丁目(電話六五〇番)(電略サ)
坂倉支店

六神丸
登錄商標 有効無害保證赤井商藥
定價
一粒入 金十錢 二粒入 金十八錢 三粒入 金廿五錢 五粒入 金四十錢 十粒入 金七十五錢
十四粒入 金一圓 二十粒入 金一圓四十錢 五十粒入 金三圓 百粒入 金五圓
郵稅一包に付金三錢
特効主目
◉肺病◉胃病◉風邪
腫物(即ち疔瘡◉乳蛾◉乳癰◉腫毒◉膓癰等)
◉痢病◉下痢◉心臟
◉霍亂◉小兒驚風等に最も適當す
◉肺病全快禮狀
拜啓過日當村神田増直(十六才の男子)肺病にて永らく困難罷在り候に付御藥御送附相願ひ候處御送り被下快癒致し從前の通り用ひ候處今日に至り全く何の差支も無之業に身力を盡す事に相成候間早々不備
明治四十四年四月十八日
甲斐國中巨摩郡大井村古市場 松田深敵
不動寺內 龜田利三郎殿
◉注意 六神丸と稱する藥品なれば皆悉く効能ありと思ふは大なる誤り也、近來諸方に幾多の自稱類似藥生じたるを以て本舗發賣の眞品を購求せんとする人々は、赤井商の登錄商標及龜田利三郎の文字に御注意の上有効無害の精品を撰ばれん事を熱望す
正本家 京都五條室町西入(電話八二七番) 龜田利三郎
代理店 京城南大門通三丁目 新井藥房 振替口座京城十六番 電話一〇六八番九〇四番

弦齋流割烹
すゞ添
南山町一丁目 電話千五百二番

效能ある溫泉
浴用効能
りようまちす、ちうふう、しんけいつう、せんき、かつけ、らいびよう、ばいどく、せいできもの、かたいたみ、つきやくふぢゆん、ひんびよう、しようかち、しきゆう、ぢのいたみ、さんごのいたみ
外用効能
せんがん、さしきず、皮膚病一切、きりきず、やけど、しもやけ、ただれ、あたまがさ、ちきづ、ひぜん、はのいたみ、いんきん、たむし、うるし
內用効能
いつう、りようまちす、せきずい、びよう、たうだん、かつけ、しんけい、いたみ、病後衰弱、りんびよう、しようかち、しきう、げり、はら、いんけつ、しんぞう、あびよう、ちようかたる、ら、せんさう、酒のよい
旅館 浴客 貸席
鐵冷溫泉
京城長谷川町一丁目韓銀建築所北横手(電話一四一二番)

名穀 布四遠 深見 時雨 光鳳
釀造元 仁川宮町三丁目
深見勝三郎
電話二四八番 電信略號フ

一日にして効能は現る
複方タルリン
りん病 いらい藥
價 三日分 廿四錢 七日分 四十錢 十四日分 七十五錢
本舖 日本大阪 高橋盛大堂
代理店 京城南大門 新井藥房 同 本町五丁目 木下大盛堂
到る所の藥店に販賣す
緒方、高橋兩病院長有効證明

朝鮮名產
鶴乃箸
〇鶴の骨細工種々
〇鶴の羽細工種々
〇朝鮮土產品種々
京城本町三丁目 電話二五〇 振替朝鮮四八
製造發賣元 海市商會
特約發賣元 京城本町四丁目(電話九五六) 日之出商行
特約發賣元 京城本町六丁目(電話二一〇) 西崎本店

齒科治療
ドクトル 中村安子
本町六丁目(鐘そば橫町)
女子見習募集委細面談
(電話一五八三)

諸公債株券現物並に米穀賣買
仁川米等極めて迅速確實に取扱ひ可申候間多少に不拘御用命願上候
有價證券並ニ米穀 問屋 (山) 柴山組
京城古市町四十番戶(大南門停車場前)
(電話一二九八番)
主任 柴山國太郎
日々相場高低ハ御一報次第電話及日報ヲ以テ御知ラセ致シ升

特製 實味噌
實味噌は白と赤との二色で味好と天下一品
御料理向
味噌製造 漬物問屋 仁川本町三丁目 たからや 電話七三七番

薄口醬油
や
特約 仁川高雄 販賣 京城支店

入院隨意
中島醫院
京城壽町三丁目(電話三七八番)
院主 醫學得業士 中島貞信

新茶賣出し
精撰本場
靜香園 茶
右新製品澤山着荷仕り宇治靜岡各國銘茶と共に精々吟味仕卸小賣共大勉强仕候間倍舊御引立且つ不拘多少御注文の程願上候敬具
銘茶 鰹節 海苔 小賣御 仁川宮町二丁目
(正) 青島商店
電話七〇九番 振替京城六〇番

芙江 公州 間 定期出帆
芙江發毎日後一時四十分公州着後六時
公州發毎日前七時芙江着後四時宇船御客樣の娯樂用として新聞雜誌碁將棋盤等の備付あり
京釜芙江驛前 中條運送芙江支店

(キ)
七月中 瀛船出帆廣告
三省丸 天草丸 成歡丸 平和丸 成歡丸
屯串行 七月日前十時 海州行 七月日前九時 甕島行 七月日前十時 海州行 七月日前七時 汝沽芝行 七月廿四日前八時
仁川本町四丁目
合資會社 秋田商會船舶部
電話一七三番 七五〇